

企業の景況感の改善の動きが一服、 フランスは解散総選挙が景気の圧迫 要因に



- 6月の総合PMIは景況感の判断基準となる50超を維持したものの、前月に比べ低下した。製造業は輸出受注、サービス業は需要の低迷により、年初来続いていたPMIの上昇が一服した。
- フランスでは6月9日、マクロン大統領が国民議会の解散を決定し、6月30日（第1回投票）と7月7日（決選投票）に総選挙が実施された。政治の先行き不透明感が6月のフランスの景況感や長期金利に影響を及ぼした。決選投票では初回投票で1位だった極右政党の国民連合は失速し、極右政権の誕生は回避される見通しとなった。
- 6月の消費者物価上昇率は前年比+2.5%と、前月の同+2.6%から低下した。ただし、人手不足を背景にサービス物価が高止まりしている。7月18日の欧州中央銀行理事会では、追加利下げが見送られる可能性が高い。
- 4月は鉱工業、建設業ともに生産活動が低迷した。

本レポートの目的は情報提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づく浜銀総合研究所・調査部の見解であり、レポート発行後に予告なく変更することがあります。また、本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に際しては、お客さまご自身の判断にてお取り扱いいただきますようお願いいたします。

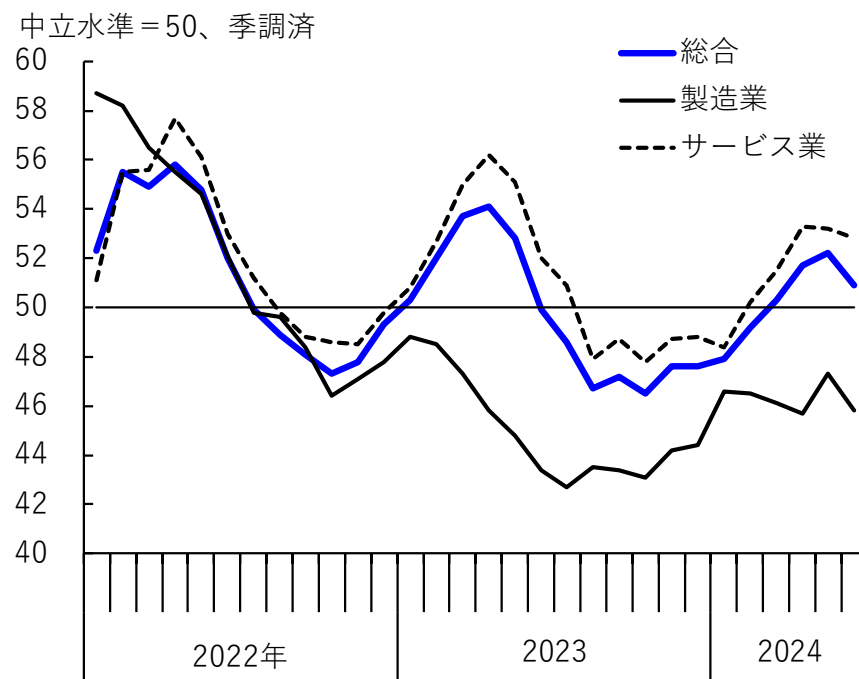




- 6月のユーロ圏の総合PMI（購買担当者景気指数）は50.9と、前月の52.2から低下した。製造業のPMIは新規受注の落ち込みなどから45.8と前月の47.3から大幅に下落した。需要の低迷を受け、サービス業も52.8と前月の53.2を下回った。
- 6月の各国別の総合PMIは、総選挙の実施による政治の先行き不透明感などからフランスが48.8と、前月の48.9を下回った。ドイツも50.4と前月の52.4から低下した。輸出受注の悪化などが景況感を下押しした。

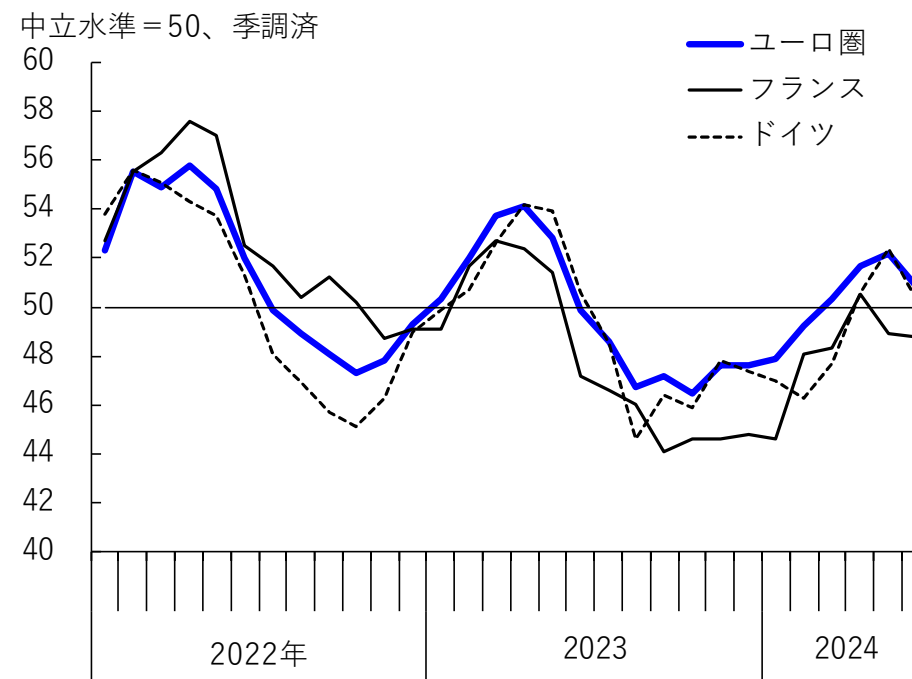
※ユーロ圏PMIの正式名称は、HCOB（ハンブルク商業銀行）ユーロ圏PMI。

ユーロ圏のPMI



出所：S&Pグローバル

主要国のHCOB総合PMI



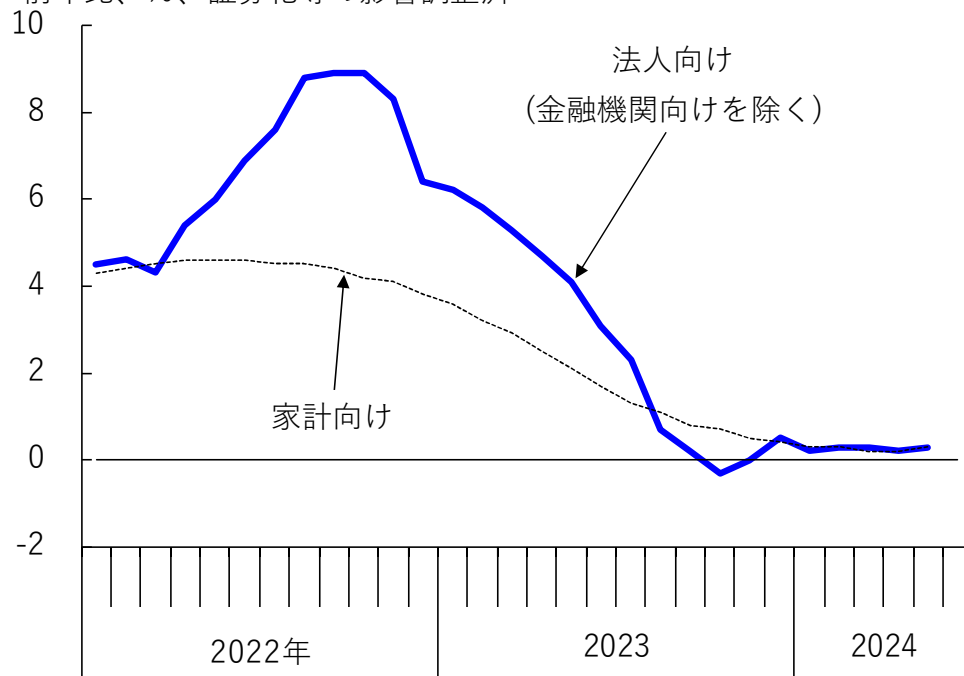
出所：S&Pグローバル



- 5月のユーロ圏の貸出残高は、企業向けが前年比+0.3%と、前月の同+0.2%をわずかに上回った。家計向けも同+0.3%と、前月の同+0.2%を上回った。
- 6月9日にマクロン仏大統領は国民議会の解散を決定した。フランスの政局不透明感の強まりを背景に、フランス国債の利回りはドイツ債に比べ高止まりとなり、フランスとドイツ国債の金利差（スプレッド）が拡大した。
 - －6月30日の第1回投票では極右の国民連合が第一党となったものの、7月7日の決選投票では左派と与党連合が勢力を盛り返し、極右政権の誕生は回避される見通しとなった。今後は、連立政権の組成を巡り混乱が続くことが懸念されている。

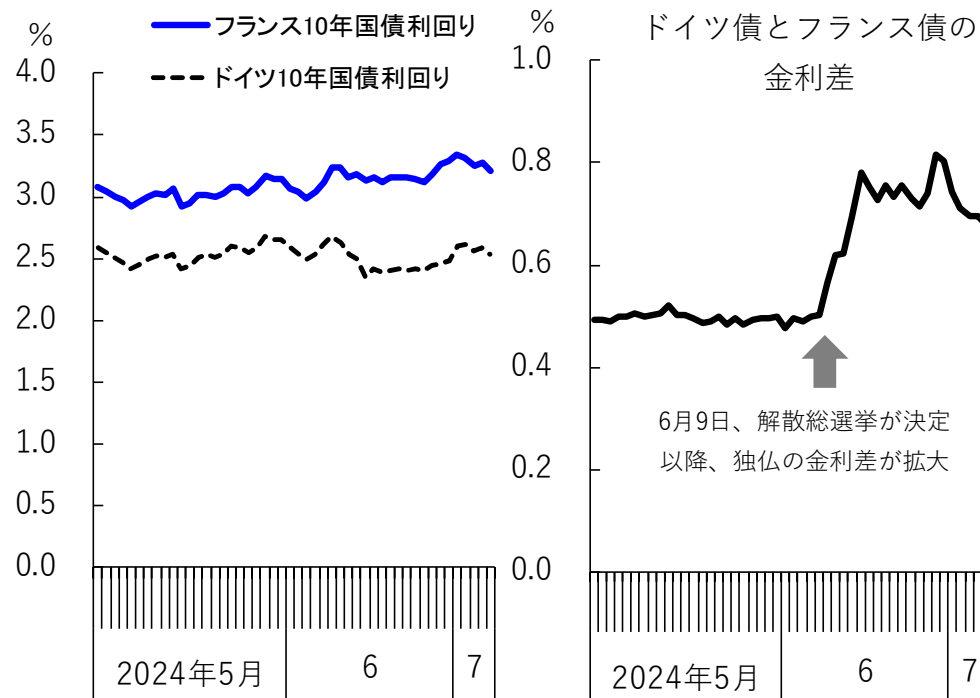
ユーロ圏貸出残高

前年比、%、証券化等の影響調整済



出所：欧州委員会統計局

フランス国債の流通利回り



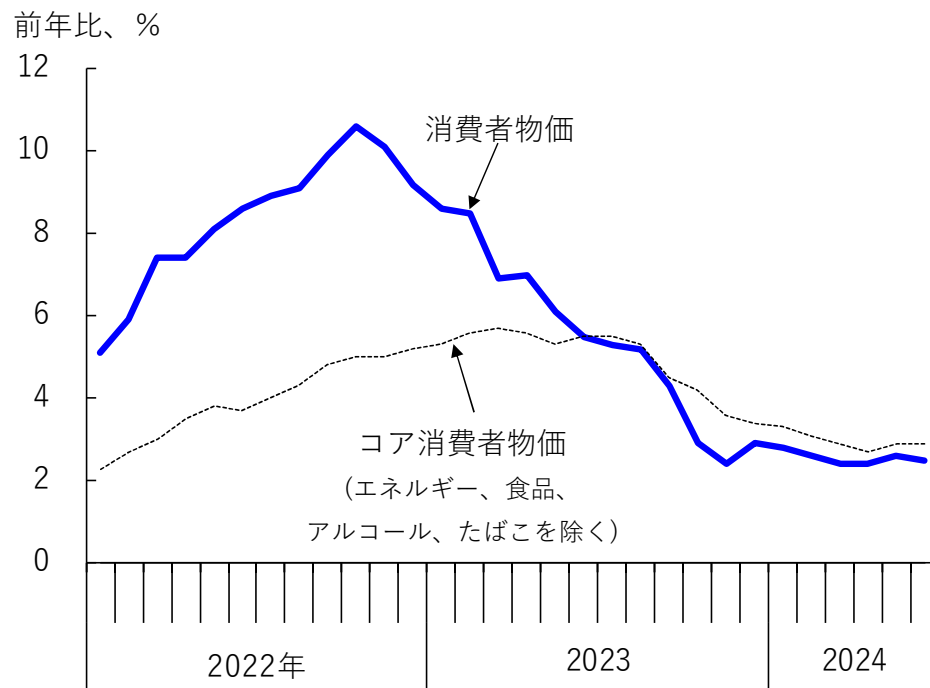
出所：ブルームバーク

ドイツ債とフランス債の
金利差

6月9日、解散総選挙が決定
以降、独仏の金利差が拡大

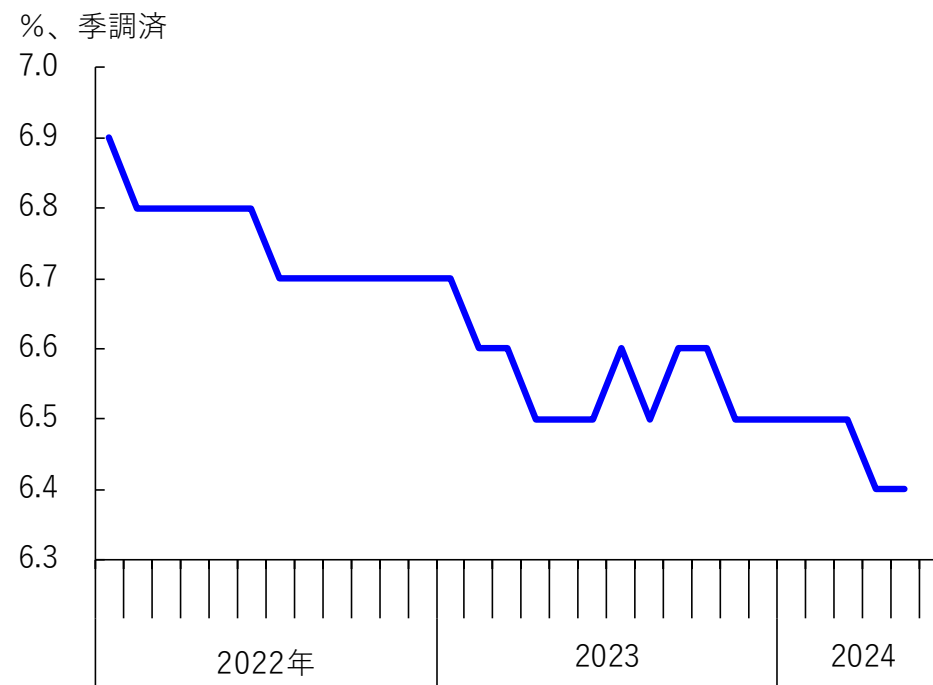
- 6月のユーロ圏消費者物価指数上昇率（速報値）は前年比+2.5%と、5月の同+2.6%から小幅ながら低下した。エネルギー、食品、アルコール、たばこを除くコア指数は同+2.9%と、前月から横ばいとなった。
 - ー 主要品目のなかではサービスの物価上昇率が+4.1%と最も高く、前月から横ばいとなった。人手不足を背景に、サービス物価は高止まりしている。賃金上昇によるインフレ圧力が根強いいため、7月18日の欧州中央銀行（ECB）の理事会では、政策金利の引き下げが見送られる可能性が高い。
- 5月のユーロ圏の失業率は6.4%と、前月から横ばいとなった。
 - ー 失業率は統計開始以来の最低値の状態となっている。

ユーロ圏消費者物価指数



注:2024年6月は速報値。
出所：欧州委員会統計局

ユーロ圏失業率



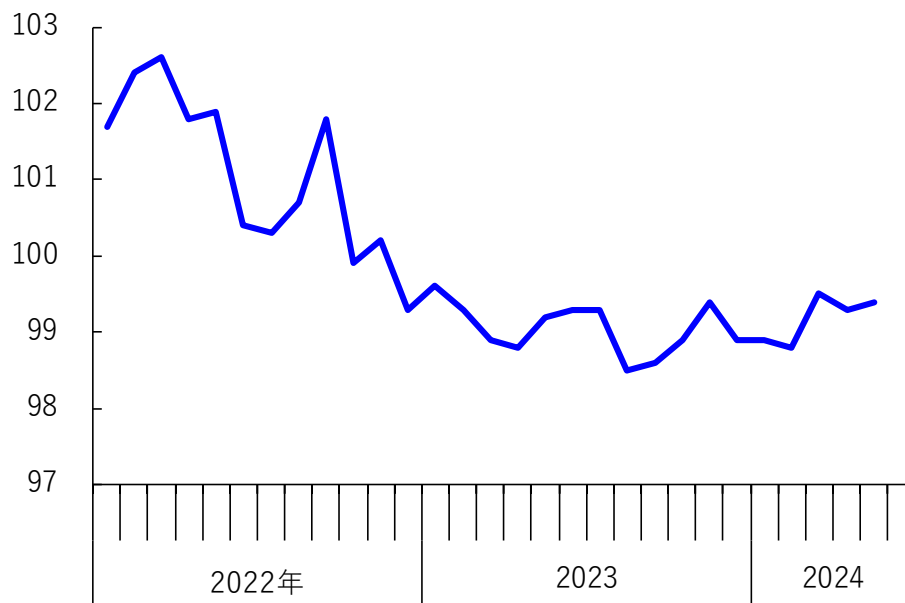
出所：欧州委員会統計局

5月の小売売上高指数は上昇、
消費者信頼感は改善が続く

- 5月のユーロ圏小売売上高指数は前月比+0.1%と、前月の同-0.2%から上昇に転じた。
 - ー 食品・飲料・たばこが前月比+0.7%、自動車燃料が同+0.4と増加した一方、非食品（自動車燃料を除く）が同-0.2%と減少した。
- 6月のユーロ圏消費者信頼感指数は-14.0と、5か月連続で改善した。
 - ー 失業率はユーロ圏の統計開始来の低水準となっており、雇用環境の改善が消費者マインドの持ち直しに寄与していると考えられる。

ユーロ圏小売売上高指数

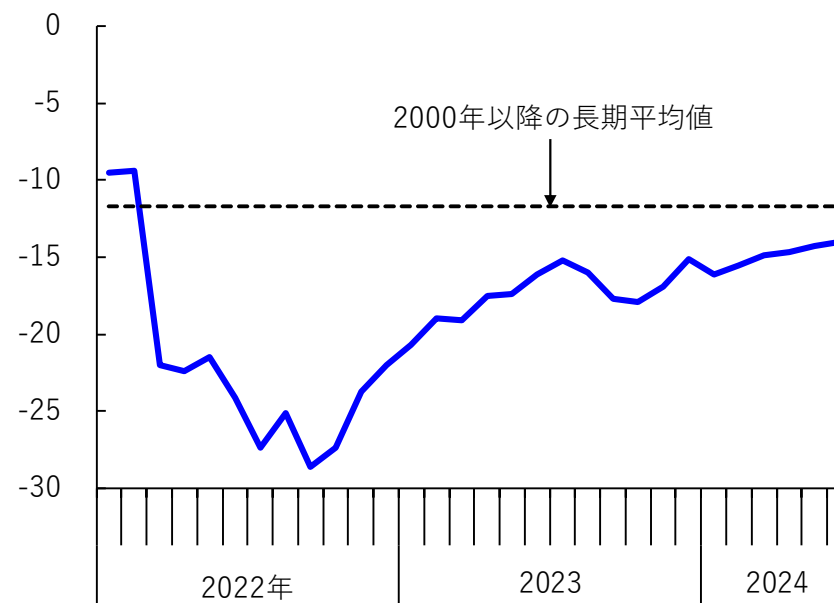
2021年=100、季調済



出所：欧州委員会統計局

ユーロ圏消費者信頼感指数

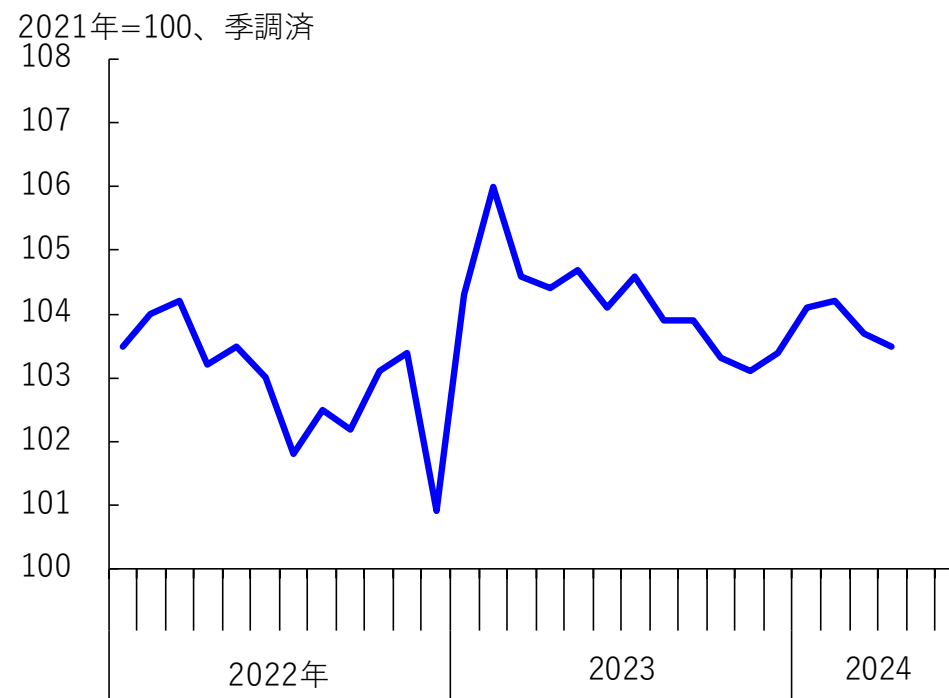
ポイント、季調済



出所：欧州委員会

- 4月の鉱工業生産指数は前月比-0.1%と3か月ぶりに低下した。非耐久消費財が同+3.4%、資本財が同+0.7%と増加した一方、中間財は同-0.4%と減少した。
 - ー国別の指数をみると、ドイツが前月比+0.3%、フランスが同+0.6%と上昇した一方、アイルランドが同-3.4%と大きく低下した。鉱工業生産指数は、アイルランドが季節調整方法を見直した影響を引き続き受けているとみられる。
- 4月のユーロ圏建設活動指数は前月比-0.2%と、2か月連続で低下した。
 - ードイツ（同-2.1%）とフランス（同-1.0%）が低下した一方、スペイン（同+1.0%）が上昇した。

ユ一ロ圏建設活動指数



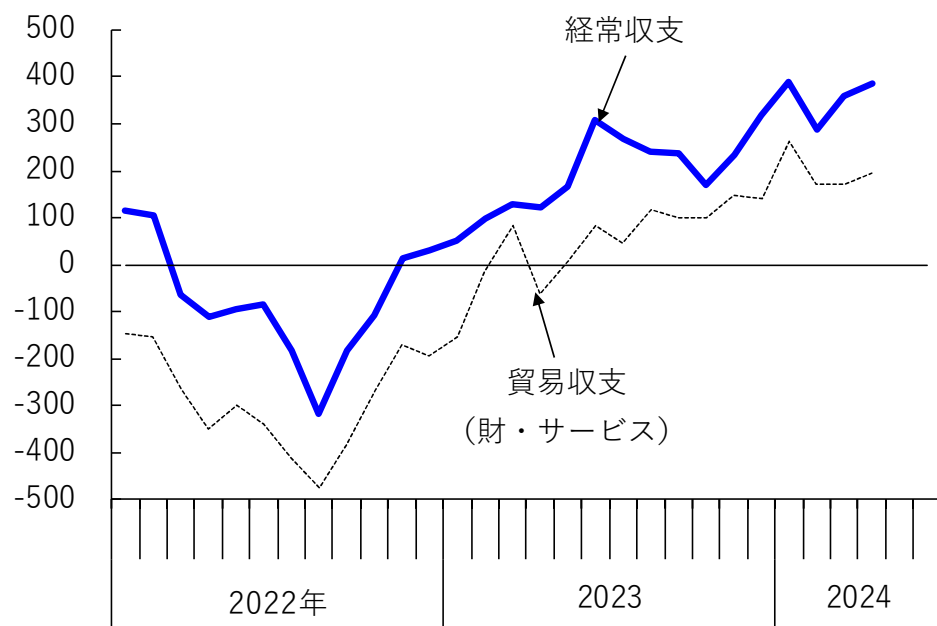
出所：S&Pグローバル



- 4月のユーロ圏の経常収支（季調値）は386億ユーロの黒字となり、前月の358億ユーロから増加した。
- 4月のユーロ圏の財の輸出（原数値）は前年比+14.0%と大幅に増加した。財の輸入は同+1.8%となった。
－4月は化学製品や原材料などの輸出が好調だった。

ユーロ圏経常収支

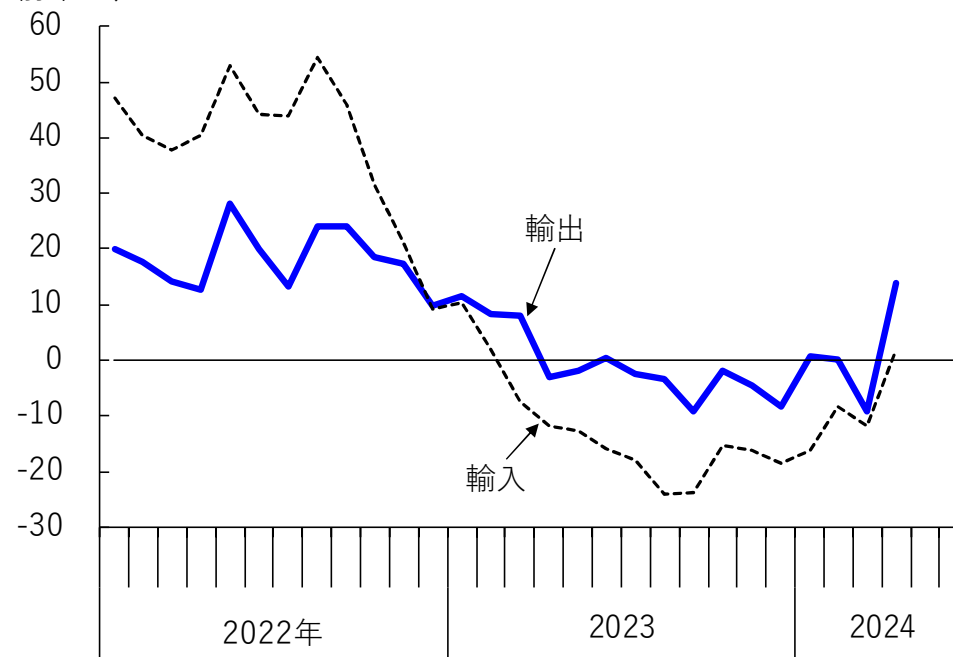
億ユーロ、季調済



出所：欧州中央銀行、欧州委員会統計局

ユーロ圏の財の輸出入

前年比、%



出所：欧州委員会統計局



横浜銀行グループ

浜銀総合研究所



2024年7月9日
調査部 特任研究員
金子 修

浜銀総合研究所では、景気動向に関するレポートなどの発行情報をメールにてお知らせしています。ご関心のある方は、下記のサイトより、「レポート更新情報お知らせメール」（無料）にご登録ください。

【URL】 https://www.yokohama-ri.co.jp/html/inquiry/inquiry_repo.html?nno=5